

+ 【岐阜女子大学】メタデータ記述用紙

	メタデータ項目	メタデータ記述欄
1	ID	
2	表題名	与那原の観光
3	資料名	軽便与那原駅舎展示資料館
4	内容分類	観光・交通
5	索引語	与那原、歴史、交通、軽便鉄道、与那原駅、与那原駅舎
6	説明	<p>沖縄の軽便鉄道は、那覇から嘉手納・糸満・与那原の3方面に敷設された路線網で、「ケイビン」の愛称で親しまれました。</p> <p>与那原線は1914年に開通し、那覇から首里、南風原を經由して与那原に至る全長約9.4kmの路線で、沖縄本島で初めての鉄道交通を実現しました。那覇には当時の主要な商業港があり、与那原は東海岸の物流拠点として発展した港がありました。この両地を結ぶ鉄道の開通は、物資や人の移動を飛躍的に向上させ、地域経済と生活に大きな影響を与えました。</p> <p>終着駅だった与那原駅は、沖縄戦で路線が消失する中、駅舎は鉄筋コンクリート造だったため全壊を免れ、戦後は農協（JA）与那原支店として活用されました。</p> <p>2014年、開通100周年を記念して駅舎が復元され、翌2015年から「軽便与那原駅舎展示資料館」として一般公開されています。</p> <p>現在は地域資源・観光資源として整備され、駅舎内では路線図や年表、写真、映像、切符切り体験、ARによる構内への電車の到着映像展示や古写真のカラーリングなどが楽しめます。屋外には戦火を逃れた駅跡も保存・公開されています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
7	形式	静止画
8	氏名	*****
9	時代・年	2025/02/16
10	地域・場所	沖縄県島尻郡与那原町与那原
11	利用条件	表示 4.0 国際 (CC BY 4.0)
12	関連資料1	
13	権利者	岐阜女子大学
14	協力者	

15	登録日	2025/02/16
16	登録者	平安山愛妃
17	ファクトデータ	 <p data-bbox="497 981 754 1010">circd0861-0006. jpg</p>
18	* 特色	<p data-bbox="497 1032 1460 1111">沖縄県内に残る軽便鉄道の遺構は、現在では数少ない「ケービン」の痕跡として、地域の歴史と地形に刻まれた貴重な文化資産となっています。</p> <p data-bbox="497 1128 1007 1158"><u>①旧沖縄県営鉄道那覇駅跡・転車台遺構</u></p> <p data-bbox="497 1176 1460 1491">沖縄県営鉄道（軽便鉄道）の始発駅であった那覇駅には、蒸気機関車の方向転換を行うための転車台が設置されており、これは沖縄県内で唯一の例でした。2015年、那覇バスターミナル（現・モノレール旭橋駅付近）の再開発工事に伴い、この転車台の遺構が発見されました。その後、市内の交通広場に移設・保存され、現在も一般に公開されています。直径約6.8～8メートル、高さ約1.1メートルのこの遺構は、軽便鉄道の運行構造を今に伝える貴重な文化財として、地域の交通史を学ぶ上で重要な資料となっています。</p> <p data-bbox="515 1509 1121 1538">（住所：〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1丁目20）</p> <p data-bbox="497 1556 991 1585"><u>②軽便鉄道橋脚跡（那覇市・国場周辺）</u></p> <p data-bbox="497 1603 1460 1731">那覇市国場地区には、線路跡とレンガ造りの橋脚の一部が現存しています。これは与那原線の廃線跡の一部として、国場駅付近の水路を跨いでいた構造物として確認されています。</p> <p data-bbox="515 1749 1064 1778">（住所：〒902-0075 沖縄県那覇市国場1014）</p> <p data-bbox="497 1796 1050 1825"><u>③壺川東公園のレールと車両部品（那覇市）</u></p> <p data-bbox="497 1843 1460 1971">壺川東公園では、廃線時に出土したレールの一部や、蒸気・ディーゼル機関車の車輪・連結棒などが保存・展示されています。かつての那覇駅と壺川駅間の区間に該当します。</p> <p data-bbox="515 1989 1121 2018">（住所：〒900-0025 沖縄県那覇市壺川1丁目11）</p> <p data-bbox="497 2036 1246 2065"><u>④「パイプライン通り」に残る線路と境界杭（浦添市大平）</u></p> <p data-bbox="497 2083 1460 2112">浦添市大平の県道251号（通称「パイプライン通り」）沿いには、歩道上に線</p>

		<p>路の一部が復元されており、かつての境界を示すコンクリート製の三角杭も保存されています。1991年の工事で出土したものが展示されています。</p> <p>(住所：---大平特別支援学校前付近---)</p> <p>⑤軽便橋</p> <p>北谷町には、かつての軽便鉄道中頭線に架けられていた「軽便橋」が現存しており、沖縄県内に残る数少ない鉄道橋梁の遺構です。戦前に造られたこの橋は、鉄筋コンクリート製で、現在も嘉手納寄りの小橋として使用されながら保存されています。軽便鉄道の技術的痕跡を伝える構造物として、地域の歴史遺産のひとつとなっています。</p> <p>(住所：〒904-0117 沖縄県中頭郡北谷町町北前 219-1)</p>
19	* 活用支援	
20	* 利用分野	生涯学習、地域学習、観光
21	* 改善結果	
22	* 処理プロセス	
23	* 関連資料 2	